

# 社会への貢献

Social Contribution

- 39 お取引先とのかかわり
- 41 パートナーシップ
- 42 品質に対する取り組み  
ステークホルダー・エンゲージメント
- 43 外部評価・参画イニシアチブ
- 44 地域社会とのかかわり



# お取引先とのかかわり

## Topics 1

### 重点取り組み サプライチェーンマネジメント CSR調達の推進

#### Policy

富士通ゼネラルグループは、国内外にわたるサプライチェーン全体を、当社グループが社会的責任を果たすべき範囲と捉えています。お取引先と共に社会・環境への悪影響を最小限にし、社会からの期待に応えていくことで、企業理念である「-共に未来を生きる-」を実現します。

#### Action

富士通ゼネラルグループでは、お取引先に対してCSR調達ガイドラインの遵守状況の調査、確認を行っています。

調査にあたっては、事前にお取引先自身で自己チェックを行うセルフチェックアセスメントをアンケート形式で実施し、現地調査時には人権、安全衛生、環境対策を中心にCSRへの取り組み状況を確認しています。

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、CSRに関する現地調査は実施できませんでしたが、セルフアセスメント質問表によるチェックを日本2社、中国2社、タイ1社に対して実施しました。2021年度に実施した調査では、お取引先にCSR上の問題は認められませんでした。

#### CSR調達ガイドライン チェック項目

9項目（詳細 41 項目）について、確認しています。

##### <チェック項目>

- ・マネジメントシステム
- ・公正な企業活動
- ・人権
- ・品質・安全性
- ・労働
- ・情報セキュリティ
- ・労働安全衛生
- ・地域社会との共生
- ・環境



#### Next Approach

近年、サプライチェーン全体での人権や環境問題などの社会課題への取り組みがますます求められています。CSR調達を強化するため、新規のお取引先に向けては、CSR調達ガイドラインを守ることの重要性を説明しています。

また、今後は富士通ゼネラルグループに直接関係するお取引先に向けて、セルフチェックアセスメントの実施対象の拡大により、状況を把握・評価し、現地監査によりお取引先とのコミュニケーションを図りつつ、是正・改善を進めることで、サプライチェーン全体での環境・労働環境・人権などの意識の醸成とリスク低減に努めていきます。

#### 主な取り組み

##### CSR調達方針の共有

富士通ゼネラルグループが、製品、資材および原料などを調達するにあたり、品質、性能、価格および納期といった従来からの項目に、環境、労働環境、人権などへの対策状況の観点から要求項目を追加することで、サプライチェーン全体で社会的責任を果たすことを目的に、CSR調達方針・指針を策定しています。

当社グループのお取引先には、CSR調達方針・指針を共有し、お取引先内での実践をお願いしています。

##### CSR調達方針

1. お取引先との共存共栄
2. お取引先の公平・公正な評価・選定
3. CSRに配慮した調達活動の推進

##### お取引先へ依頼するCSR活動の重点項目

1. 労働における取り組み（雇用の自由、人道的待遇、差別の排除等）
2. 安全衛生への取り組み（職務上の安全、衛生設備等）
3. 環境への取り組み（汚染防止と資源削減、水の管理、エネルギー消費および温室効果ガスの排出削減等）
4. 倫理への取り組み（責任ある鉱物調達、情報開示等）
5. マネジメントシステム（経営者の説明責任、リスク評価と管理、監査と評価等）

##### 紛争鉱物への対策

富士通ゼネラルグループは、強制労働や人権侵害、紛争の助長につながるリスクの高い鉱物調達について、お取引先と連携しながら、サプライチェーン全体に対する責任ある調達活動を推進しています。

##### 責任ある鉱物調達に対する基本方針

紛争を助長している、あるいは強制労働や人権侵害と関連しているリスクの高い鉱物を、富士通ゼネラルグループの製品や部品、およびサプライチェーンから排除することを方針としています。



詳細については当社Webサイトをご覧ください。  
CSR調達方針  
<https://www.fujitsu-general.com/jp/csr/procurement-policy.html>



## パートナーシップ

### 海外販売会社とのパートナーシップ

富士通ゼネラルグループは、中期経営計画の達成に向けた重点テーマの一つに「空調機ビジネスの拡大」を掲げています。他企業とのパートナーシップにより新たなイノベーションを創出し、製品ラインアップ拡充、ビジネスの拡大につなげていきます。

#### Voice ≡ Johnstone Supply (アメリカ)



General Manager  
HVAC Equipment  
Mr. Derek Morgan

Johnstone Supply と Fujitsu General America, Inc. のパートナーシップは 15 年以上前から始まりました。当時ダクトレスミニスプリット製品は米国の機器市場全体の 3% 未満でしたが、現在では、空調機器市場の 15% 近くを占めるまでになりました。

マルチスプリットは、Johnstone Supply にとっては最も成長の早い機器カテゴリーとなっています。

Johnstone Supply の使命は、私たちが行うことはすべて「ディーラーがビジネスをしやすいように」という非常にシンプルなことです。

私たちは、富士通ゼネラルとともに、お客さまの生産性と収益性を向上させるために、業界をリードするツールやトレーニングリソース、サービスを開発・展開することができています。富士通ゼネラルは、人材、製品、データ、プログラム、サービスを提供し、すべてのステップで私たちの努力をサポートしています。

気候変動の影響が世界中で拡大し続ける中、米国連邦政府は国全体で効率化基準を引き上げました。さらに、多くの州が化石燃料を使用した製品に対しての規制を強化しつつあります。すでに一部の地域では、新築時に天然ガスやプロパンを使用した暖房器具の使用を禁止しています（これは「アメリカの電化」とも呼ばれています）。

富士通ゼネラルは、今まで培ってきた高効率のエアコンやヒートポンプ技術や、長年にわたり、住宅と商業施設の両市場で業界をリードする技術と世界トップクラスのデザインを提供してきたことで、消費者の認識と信頼においてトップクラスのブランドとなっています。

今後、富士通ゼネラルには、製造効率の向上、革新的な製品の設計・開発への投資、そして競争力のある価格での市場投入を継続的に進めていくことを期待しています。そうすることで、Johnstone Supply と Fujitsu General America, Inc. がお互いに長期にわたって継続的に成長することができると確信しています。

#### Voice ≡ Frigelar (ブラジル)



President  
Frigelar Comércio e  
Indústria Ltda.  
Mr. Alexandre Fiss

私たちの住む環境は大きく変わろうとしています。それにとめない、私たちがお客さまに提供するサービスや製品も、人類の発展と世界のサステナビリティ促進の一躍を担う必要があります。それを実現するためには、同じ目標を持つ企業とのパートナーシップが不可欠です。

富士通ゼネラルは、「イノベーションを通じて社会への信頼を築き、世界をサステナブルなものにする」という目標を掲げ、その文化とサステナブルな世界の推進へ積極的に貢献していく姿勢を示しています。

また富士通ゼネラルは、より良いサービスと高品質製品の開発に注力し、技術と高品質な製品をお客さまに快適で健康的な室内環境を提供することで知られています。「イノベーションを通じて社会への信頼を築き、世界をサステナブルなものにする」という富士通ゼネラルの目標は、その文化とサステナブルな世界の推進へ積極的に貢献していく姿勢を表していると認識しています。

Frigelar は、社会に貢献しつつ富士通ゼネラルと長年にわたってパートナーシップを築いてきたことを非常に誇りに思っています。

私たちは、設立以来、革新への絶え間ない投資と、人々と企業をソリューションで結び付ける使命を通じて、食品業界、ヘルスケア業界、その他多くのセグメントの基盤と

して機能してきました。

今後富士通ゼネラルブランドの強さを、そしてこのパートナーシップの絆の強さを信じて、共にサステナブルな世界を創造し、未来の世代のためにより良い生活を保障していきます。

## 品質に対する取り組み ステークホルダー・エンゲージメント

### 品質に対する取り組み

#### 富士通ゼネラルグループ全社品質方針

次も富士通ゼネラルの製品を選んでいただくために、安全で高品質な製品を提供し続け、お客様との信頼を築きます。

1. すべての製品は品質を第一とします。
2. 先進的な製品、技術を生み出し続けることでお客様に満足いただける品質と安全を届けます。
3. 製品に関する法令を遵守します。
4. お客様からの製品の品質、安全についての情報を積極的に収集するとともに適切な情報を迅速に提供します。
5. 品質向上を継続的に追求することで国際社会・地域社会に貢献します。

### 主な取り組み

#### 技術者倫理教育

富士通ゼネラルグループは、技術者に対して当社グループの品質を統括する品質保証推進統括部が、毎年「技術者倫理教育」を実施しています。

2021 年は外部の専門家を招いて、講義と仮想課題に対してのグループ討議を行い、その結果を発表しました。

受講率は 96% で、グループ討議ではさまざまな立場での意見を出し合い、最終的には企業理念 FUJITSU GENERAL Way の精神である、「誠実さを大切に」がキーワードになっていました。受講者からは改めて自分を見つめ直す機会になったなどの意見が寄せられました。

#### 品質コンプライアンスヒアリング

富士通ゼネラルグループは、技術者に対して当社グループの品質を統括する品質保証推進統括部が、毎年「技術者ヒアリング」をサンプリング方式で実施しています。

2021 年は 12 名の技術者に品質コンプライアンスにかかわるヒアリングを実施しました。

ヒアリング内容は、不正が起こる 3 要素（動機・機会・正当化）を説明し、自身や他者での不正につながるおそれの事案が無かったか、また、技術者の悩みもヒアリングしています。今回のヒアリング結果からは重大な問題の発生はありませんでした。

## ステークホルダー・エンゲージメント

### 株主・投資家との対話

富士通ゼネラルグループの企業理念において、目指すべき「Our Mission」を実現するための「Our Philosophy」の中に、「協調と対話」および「誠実さ」を掲げています。

株主・投資家の皆さまとの建設的な対話の機会をできる限り確保すると共に、対話の基盤となる情報を適時・適切に開示します。

#### ■ 株主総会

富士通ゼネラルグループは、株主総会が株主の皆さまとの貴重な対話の場であると考えています。株主総会は原則として集中日を避けて開催し、招集通知は開催日の約 3 週間前に発送しています。また、株主が適切かつ円滑に議決権を行使できるよう、インターネットによる議決権行使の対応、機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームへの参加、招集通知（狭義の招集通知、株主総会参考書類）の英文での提供等を行っています。

#### ■ アナリスト・機関投資家向け IR 活動

富士通ゼネラルグループは、投資家の皆さまに適時・適切な情報開示を通じ、当社事業への理解を深めていただくよう努めています。アナリスト・機関投資家向けの決算・中期経営方針に関する説明会を年 2 回（原則 4 月・10 月）開催するとともに、個別取材対応を適宜行い、状況に応じて海外投資家訪問も実施しています。また、四半期毎の決算発表時には、記者会見を行い、報道を通じて情報が伝わるようにしています。

詳細については当社 Web サイトをご覧ください。  
IR 情報（株主・投資家の皆様へ）  
<https://www.fujitsu-general.com/jp/ir/>



## 外部評価・参画イニシアチブ

### 外部評価

- ① 「S&P / JPXカーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄に選定
- ② 次世代認定マーク「くるみん」取得
- ③ 「スポーツエールカンパニー 2022」認定神奈川県
- ④ 「第5回日経スマートワーク経営調査」3星に認定
- ⑤ 「第3回日経」SDGs経営調査」3.5星に認定
- ⑥ 「がんアライアワード 2021 (ゴールド)」受賞
- ⑦ 「CHO構想推進事業所」登録



### 参画イニシアチブ

- ⑧ 気候変動イニシアティブ「JCI」
- ⑨ 国連グローバル・コンパクト「UNGCC」
- ⑩ 気候関連財務情報開示タスクフォース「TCFD」
- ⑪ 経団連生物多様性宣言イニシアチブ



## 地域社会とのかかわり

### Topics 2

重点取り組み  
社会貢献の推進  
地域社会と共存

### Policy

富士通ゼネラルグループでは、「次世代人材の育成」「地域社会とのコミュニケーション」「地球環境の保全」を、地域貢献活動の基本方針としています。なかでも次世代を担う子どもたちへモノづくりの楽しさを伝え、将来的にモノづくりへ携わる人材を育てていくことには力を入れています。また地域住民の方々に参加するイベントを開催することにより、地域社会の発展に貢献していきたいと考えています。

### Action

#### ■ 次世代人材の育成

富士通ゼネラルグループでは、メーカーとしてモノづくりの楽しさを発信し、未来のモノづくりを担う人材育成を行っています。当社では電機・電子業界に興味がある高校生からのインタビュー依頼を受け入れ、職業観・勤労観を伝え、将来に向けて自らの生き方・在り方を考える機会なども提供しています。

#### Case 川崎市立末長小学校 エアコン出前授業

2021年6月29日、30日の2日間にわたり、当社社員（海外営業本部の社員13名）が、川崎市立末長小学校（同校は川崎本社向かいにあり、以前からさまざまな交流を行っています。）に出席し、エアコンに関する講義を行ったり、グループに分かれて「体験を通じた授業」を行いました。

今回の授業は6年生を対象としたものでしたが、講義では「夏の教室をすずしくさわやかに」をテーマに、エアコンの仕組みや、効果的な使い方、家庭でもできることなどについて説明を行うとともに、グループに分かれ「魔法の箱を作ってみよう！」というタイトルで「簡易エアコン（ドライアイスを使用）作成」体験を通して、実際に冷気がどのように出ているかなどを学んでもらいました。



出前授業の様子

#### Case 職業訓練

技術職業訓練学校のLincoln Techとパートナーシップを結び、定期的に若い未来の技術者にさまざまな研修を行っています。空調機の技術者やコントラクター（設置業者）は年々減少しており、質の高いサービス技術者や設置業者を確保するのが難しくなっています。

富士通ゼネラルグループは、そうした未来の技術者を自らで育てていく責務を担っていると感じており、Lincoln Techなどの技術職業訓練学校で空調技術を学ぶ学生たちを相手に、ダクトレススプリットやインバーター技術に関する研修を定期的に行っています。

こうした活動により、未来の技術者を育てるだけでなく、彼らが当社製品について学びファンになってもらうことで、将来的に当社製品のサポートの強化につながって行くと考えております。



技術職業訓練学校での研修の様子

#### ■ 地域社会とのコミュニケーション

富士通ゼネラルグループでは、地域との交流を図ることで地域共生を推進しています。

タイの生産会社 Fujitsu General (Thailand) Co.,Ltd. では、工業団地主催の植林活動に参加するほか、オーストラリアの販売会社 Fujitsu General (Aust.) Pty Ltd. では、貧困によりホームレスで暮らす人々を支援するイベントに現地販売会社社長が参加、参加企業の社長がそれぞれ冬の屋外で一晩過ごし、募金活動を行いました。

詳細については当社Webサイトをご覧ください。  
外部評価  
<https://www.fujitsu-general.com/jp/csr/assessment.html>



詳細については当社Webサイトをご覧ください。  
参画イニシアチブ・パートナーシップ  
<https://www.fujitsu-general.com/jp/csr/initiative.html>



# 地域社会とのかかわり

## 各拠点で行う地域社会貢献活動

富士通ゼネラルグループは、グローバルに社会貢献の輪を広げ、活動しています。

### アメリカ



ニューヨーク州でのヒートポンプ技術の省エネ性を実証 (FGA I)



重病を患う子どもの夢叶える活動を推進 (FGA I)



技術系の職業訓練学校での定期的な技術研修の実施 (FGA I)

### イギリス



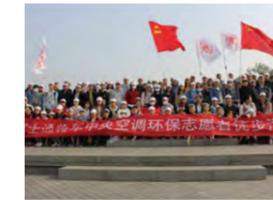
脳腫瘍患者へのチャリティ "Bike Event" プログラムへの定期的な参加 (FGACUK)

### タイ



植林活動や海岸清掃活動 (FGT)

### 中国



環境保全活動への参画 (FGCA)



PCR検査活動へのボランティア参加 (FGCA)

### 日本



高校生の職業 (「モノづくり」) 体験受け入れ



小学校でのキャリア教育



近隣小学校への緑地の開放



社会見学や工場見学の受け入れ



希少生物の保護・育成



高津区の市民向けセミナー共同開催と会場提供

### オーストラリア



小児がん患者の病院を支援している慈善団体「Sporting Chance Cancer Foundation」を通じた寄付活動とボランティア活動 (FG Aust)

### ニュージーランド



チャリティイベントへの参加 (FGNZ)

詳細については当社Webサイトをご覧ください。  
コミュニティへの参画および発展  
<https://www.fujitsu-general.com/jp/csr/community/index.html>

